

できることからはじめよう!



城陽環境パートナーシップ会議

城陽エコパートナー通信

Vol.63

発行日：令和元年(2019年)10月10日
会員数：289人(9月30日現在)

編集・発行：城陽環境パートナーシップ会議
(事務局) Tel(56)4061 Fax (56)3999

第18回城陽市環境フォーラムを開催しました!!

9月22日(日) 場所：文化パーク城陽 市民プラザ

文：芦原副会長



着物リメイクファッションショー



講演会



講師：大関はるか氏



食品ロスクイズコーナー



第3回グリーンカーテンフォトコンテスト総選挙



来場者からの意見



喫茶

午前中の「着物リメイクファッションショー」と、午後の「食品ロス削減に向けて」の講演会に参加された客層が全く違うのは変わらなかったのですが、参加された方の関心度や真剣度合いが、例年にも増して大きかった気がします。

展示コーナーについては、司会者が各ブースを回り、参加者に興味を持っていただくようインタビュー形式で展示内容を分かりやすく紹介していただきました。そのかいあってか、「グリーンカーテンフォトコンテスト」総選挙には89票の投票があり、大いに盛り上がりました。

「食品ロス」は、地球人として避けては通れない問題です。取り組み方が非常に難しいテーマでもありますが、講師の大関はるかさんは、すでにご自分が家庭でおこなっていることをお話いただくなど、食品ロスを削減する方策を数多く提供くださり、理解が確実に深まるとともに、帰ったら実践してみようという気にさせられました。

宴会の際に、食べる時間と話をする時間をきっちり分けることが食品ロスを防ぐ手立てというくだりには特に納得。何回も宴会を経験してきましたが、全く気付かず新たな発見でもありました。

来場者から、食品ロス削減のためあなたが取り組んでいることは？に対して、多数の回答をいただきました。このような来場者の生の声に加え、食品ロス削減に関して、会員同士で論議を深めた経験など、今後の活動に活かす素材が増えました。

環境出前講座を開催！ 7月3日～8月6日 市内保育園 10園

文：事務局



今年度も市内の保育園（10園）で、環境出前講座を開催しました。受講いただいた園児は355名、保育士41名、計396名の皆さん。地球温暖化による影響や身近に取り組める環境行動をわかりやすいイラストで紹介することができました。

環境出前講座は、毎回テーマを変え、試行錯誤をしながら開催してきました。今回の講座のテーマは「『もったいない』って知ってる？」でした。映像を使い、園児が飽きないような学習内容を何度も検討し、リハーサルもおこなって開催した今年の学習会は、どの園の園児もしっかり聞いてくれました。おうちの方やお友達と話をして、環境にいいことを、できることから始めてくれればいいなあと思います。



保育園の方からお聞きしたのですが、環境出前講座は、子どもたちのあいだでは「年長さんになると環境のお勉強をする」というように認識しているということを聞き、とても嬉しく思いました。園児が大きくなって、「聞いたことがあるぞ」「地球が熱を出すってこういうことなんだ」と思ってくれることが大切なことなのだと思います。環境活動は地道な活動です。

次年度も子ども環境への関心を高めてもらえるよう、さらに創意工夫をおこなって「環境出前講座」を開催したいと思います。

こどもエコバスツアーを開催！ 8月7日(水) パナソニック エコテクノロジーセンター(株)

文：奥田委員



市内在住の親子6組（小学生3～6年）、スタッフ6名を含む18名が兵庫県加東市のPETEC（パナソニックエコテクノロジーセンター）を見学。家電がどのようにリサイクルされるのか「見て・聞いて・触る」体験を通じてモノを大切にすることの重要性を学んでいただきました。大野会長挨拶の後、小林委員による環境学習3択クイズが楽しく行われ、13時にセンターに到着。係員によるセンターの成り立ちをはじめ、映像で家電（エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機）のリサイクルへの取り組みが紹介されました。ワイヤレススピーカを装着して工場見学がスタート。見学コースの窓越しにエアコン、テレビ、洗濯機、冷蔵庫を手慣れた作業員によるリサイクル選別作業を見学、リサイクルできる主な構成部品を手作業で回収した後、箱ものを粉碎します。その際に大きな音が発生するのですが、分厚い防音壁が設けられており、係員の方の解説も十分に聞き取れました。見学コースには様々な配慮がされており、粉碎された物質（3種のプラスチック、鉄、銅、アルミ、貴重金属等）の風力、比重、磁力による選別技術には感心させられました。また、回収されたコンプレッサの重さも体感しました。最後に、工場見学の目玉として回収された薄型テレビの解体体験をしました。子どもたち2人がペアとなり薄型テレビを電動ドライバー、ニッパー等を駆使して解体作業をしました。帰りに参加者の集合写真を撮り、帰路のバスでは3択クイズ、当会議発行の「Joyo Eco Choice!（ジョウヨウ エコ チョイス）」の紹介をしました。定刻には戻れませんが、市役所に無事到着、解散となりました。次回のこどもエコバスツアーも今回のように、皆さんにとって有意義で楽しいものを企画しますので、お楽しみに！



参加者の皆さん

省エネ診断を実施しました！ 7月24日(水) 10:30～14:30 城陽市役所 1階ロビー 文：大野会長



7月24日水曜日、城陽市役所1階ロビーで夏の省エネ診断を開催しました。昨年は庁舎の改築工事の関係で実施できず、2年ぶりの開催となりました。今回は循環・地球環境部会の委員（小林、奥田、奥、大野）と事務局（峠、竹谷）の6名が担当しました。会場設営を10時に終えた後、10時30分から診断を始め14時30分に終了しました。受診者数は40名でした。市庁舎内での開催は、来庁の市民の方に夏の省エネ活動をPRできる絶好の機会です。市庁舎内の配置が変更になったことから1階ロビーの来庁者の往來が少ないのでと心配しましたが、庁内放送の効果もあり、昼休みには職員の方の受診が増え、受診者数は前回の36名を上回る結果となりました。

省エネ診断は皆さまに毎年1回続けて受けていただくのが効果的と考えています。省エネへの取り組みは必ず診断結果に表れます。確かな取り組みをするためにも活用していただきたいと思います。

省エネ診断は、コミセンの行事にも協賛し開催しております。ぜひ多くの方の受診をお待ちしています！



7月の自然観察会は、毎年この今池川流域でおこなっています(去年は雨で中止)。今回で5回目になります。参加者は18名。講師は、生き物(特に鳥)は、何でも知っている岡井勇樹(環境生物研究会)さんです。過去4回おこなった自然観察会で、28種類の魚類の観察記録があります。

保健センター駐車場に9時に集合し、中川委員より講師等の紹介があり駐車場横の今池川上流に向かいました。途中、事前に中川委員が仕掛けた【モンドリ】を引き上げ、アカミミガメ、クサガメを確認しました。仕掛けの【モンドリ】があった付近から子ども達は、たまたま元気よく川へと入り、上流へ向い観察を続けました。橋の付近では、ナマズやモツゴ、タウナギなど、魚類の12種類が確認されました。また同時に水質検査もおこない、pH測定は「6(中性)」、COD測定では「5(前回も同じ5)」でした。

新顔として『本モロコ』が確認され、今回で魚類の観察記録は29種類となりました。お目当てのひとつであるスッポンは、今回は観察されませんでした。

橋近くの木陰の広場で中川委員から本日の総括、中川漁業組合長から今池川の今昔話、岡井講師からは、田んぼに沢山飛んでいたツバメ、3種類(ツバメ・イワツバメ・コシアカツバメ)の見分け方、特徴などの話を聞き、11時に集合写真撮影後、解散しました。

今回観察できた生き物は以下の通りです。

魚類：12種類 爬虫類：2種類 甲殻類：2種類
両性類：1種類 貝類：2種類 昆虫類：1種類

モンドリとは漁具の一種で、水中に沈めて魚や水底動物を捕らえるための道具のことです。



参加者の皆さん



【モンドリ】に掛かったカメ



子どもエコ料理教室を開催！ 8月24日(土) 13時30分～15時30分

こどもエコ料理教室では毎回子どもたちに「地産地消」の意味と城陽産の野菜や果物の美味しさを知る機会になればと開催しています。

今回のメニューは「梅ポロン」「イチジクと旬の果物のゼリー寄せ」「ココロ豆腐ドーナツ」です。使用した食材の「梅」「イチジク」「菜種油」は城陽産を使用しました。

「梅ポロン」は、ほんのりと梅の味がするクッキーです。イチジクと旬の果物を使ったゼリー寄せは、イチジクの甘さが引き立ち、冷たくてとてもおいしかったです。

ココロ豆腐ドーナツは、豆腐と薄力粉を手で混ぜるので、手がベタベタになりますが、子どもたちは悪戦苦闘しながらもドーナツを作りました。ふんわりとやさしい甘さでとてもおいしかったです。

本日のこどもエコ料理教室で、城陽産の食材の美味しさを知り、親子で作ることの楽しさを知る・・・ぜひ家庭でも作ってみよう！と広がるのが期待でき、とてもうれしく思います。



イベント

Information

お気軽にご参加ください!

洛タイ新報のホームページにおいて、当会議の中川宗孝運営委員執筆「ナチュラリストのフィールド日記」を連載中です。ぜひご覧ください!

“食”のウォームビズ

「男のエコ料理教室!」

冬の地球温暖化防止対策として、体を内側から温める「食」のウォームビズに注目。旬の野菜を使った料理を紹介します。

開催日時	12月14日(土) 10時~13時
場 所	東部コミセン 料理実習室
講 師	木下穂支子氏
定 員	24名(先着順)
実習献立	「白菜と鶏団子のしょっつるスープ」 「麩チャンプル」「海老と冬瓜のあんかけ」
参加費	1,000円
対 象	市内在住、在勤、在学の人
持 ち 物	エプロン・三角巾・タオル・ふきん・台ふき
申し込み	11月18日(月)から電話で事務局まで
★詳細は広報じょうように掲載予定	

廃食用油を使った工作教室

「親子クリスマスエコキャンドル作り」

天ぷらなどの後に残る廃油。そのまま排水口へ流せば水を汚し、捨てれば廃棄物を増やしてしまいます。今回はその廃油を使って素敵なクリスマスエコキャンドルをつくります。

開催日時	12月15日(日) 10時~11時30分
場 所	南部コミセン 講習室1・2
講 師	城陽環境パートナーシップ会議運営委員
定 員	小学生とその保護者 先着16組(先着順)
参加費	無料
対 象	市内在住、在勤、在学の人
持 ち 物	きれいにろ過した廃食用油(150ml~200ml※ ビンなどに入れてお持ちください)、エプロン、軍手
申し込み	11月18日(月)から電話で事務局まで
★詳細は広報じょうように掲載予定	

マイボトルの推進[その6] 「動き出した脱プラ運動!」

文：小林委員

■大阪 G20 サミット会議場からペットボトルが消えた!

6月の G20 開催に当たり、大阪府・市では会議ではペットボトルの水・茶が消えた。同様に京都市議会や亀岡市からもペットボトル水茶が消えた。一人一人の抑制意識は芽生えては来たが、残念なことに、多くの人が集う各種会議場では依然としてペットボトル水茶が並ぶ会議に遭遇する。そこで配られたペットボトル水茶は多くが持ち帰られ、やがて廃棄され、プラごみとなる。衛生的で軽く便利なペットボトルは、ごみとなり地球環境を汚している。最近の研究によると、「ペットボトル水には、たくさんのプラ微粒子が溶け込んでいる」とも。環境、健康によい、金属製マイボトルの活用をお願いしたい。

■自動販売機からペットボトルが消える!

家庭から集める、いわゆる家庭用廃プラは、自治体のルールに従ってリサイクルや焼却される。一方、工場・コンビニ等から排出される産業用廃プラは、別のルートで回収されて多くは、輸出されて来た。輸入国の規制で日本でも廃プラの山と化して処理が出来ずに環境省が焼却処分の指示が出ている。ご存知、ごみを燃やせば温暖化の元凶となる CO₂ を排出することになる。「ごみ問題は所詮上流(製造・販売者)で絞らなければ解決しない。つまり、遅まきながらもプラの生産抑制や本格的代替品(バイオプラ)開発を」とは、海洋廃プラ環境問題の先駆者、東京農工大の高田秀重教授の言葉。来春に、学内全部の自動販売機からペットボトルが撤退されることを表明。いわゆる、上流抑制が動き出した。



ペットボトル廃止対応の給水器の設置が始まっている。高田教授と給水器(東京農工大)

東 城 陽 ゴ ル フ 倶 楽 部

〒610-0121 京都府城陽市寺田奥山 1-48
TEL : 0774-52-1161

日 本 観 光 ゴ ル フ 株 式 会 社

城 陽 カ ン ト リ ー 倶 楽 部
〒610-0121 京都府城陽市寺田奥山 1-46

株 式 会 社 城 南 工 建

〒610-0113 京都府城陽市中芦原 27 番地の 1
TEL 0774-53-3939 FAX 0774-55-1172

株 式 会 社 玉 井 開 発

〒611-0031 京都府宇治市広野町西裏 30 番地 1
TEL 0774-44-3351(代) FAX 0774-41-7007

次の団体・個人から賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました。

イズミヤ(株)大久保店、近畿砂利協同組合、京都城陽ロータリークラブ、サントリープロダクツ(株)宇治川工場、(株)城南工建、城陽市、城陽商工会議所、城陽金融会、星和電機(株)、(株)玉井開発、長池工業(株)、日本観光ゴルフ(株)城陽カントリー倶楽部、東城陽ゴルフ倶楽部、(株)平和堂アル・プラザ城陽、(株)ミズホ、森澤博光

※令和元年9月末現在(五十音順・敬称略)